

第3章 推進方向と取組方策

推進方向 1

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進

現状と課題

近年、社会が大きく変化してきており、個人が明確な目標や目的意識を持ったり、何かに意欲的に取り組んだりすることが、以前より少なくなりつつあることが指摘されています。

このような中、市民活動交流センター「ミナクール」における市民活動の支援や、まちづくりや人づくりを目的とする様々な事業の実施、学校・家庭・地域と連携した子どもたちへの様々な交流・学習活動の機会の提供など、地域コミュニティの充実に取り組んでいるところです。

社会を取り巻く環境は、グローバル化、高度情報化の進展や、人口減少と少子高齢化の進展など急速に変化しており、生涯学習による自己の充実・実現を図ることの重要性はますます高まってきています。

取組概要

市民一人ひとりが、主体的な学習活動を通して自らを高め、心を豊かにしていくため、市民の自主的な学習活動の支援や生涯学習活動の普及・啓発に努めるとともに、未来を担う子どもたちの活動支援を行い、「いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進」を図ります。

推進方向 1 における取組方策と主要事業の体系

推進方向 1

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進

【取組方策 1 - 1】市民の自主的な学習活動の支援

< 主要事業 > 「千歳学出前講座」

【取組方策 1 - 2】関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援

< 主要事業 > 「生涯学習フォーラム事業」

【取組方策 1 - 3】生涯学習活動の普及・啓発の充実

< 主要事業 > 「生涯学習まちづくりフェスティバルふるさと
ポケット支援事業」

【取組方策 1 - 4】まちづくり活動を行うセンター機能の充実

< 主要事業 > 「市民活動交流センターミナクール管理運営業務」

【取組方策 1 - 5】まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援

< 主要事業 > 「ひと・まちづくりリーダー養成事業」

【取組方策 1 - 6】地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実

< 主要事業 > 「学校支援地域本部事業」

< 主要事業 > 「放課後子ども教室推進事業」

【取組方策 1 - 1】

市民の自主的な学習活動の支援

市民と市民の学びあいによる学習活動や交流の活性化を図るとともに、市民と行政の情報共有を図り、協働してまちづくりを推進するための市民の自主的な学習活動を支援します。

(主要事業):「千歳学出前講座」

地域課題や生活課題に対する市民の自主的な学習活動を支援するため、「千歳学出前講座」を推進します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	成果指標	後期計画目標値 (平成 32 年度)
千歳学出前講座 メニュー数	238 講座	250 講座	260 講座	千歳学出前講座 実施回数	500 回

< 前期計画期間の取組 >

市政や市内企業における取組状況に関する情報を提供するとともに、市民が学んだ成果を生かすことができる事業として、講座メニュー数は概ね順調に推移しています。

また、市民編や仕事編における講座提供希望者が増加しており、学んだ成果の活用の場としても機能しています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
出前講座メニュー数 (講座実施回数)	254 講座 (491 回)	257 講座 (493 回)	253 講座 (439 回)	263 講座 (444 回)

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、市民ニーズに対応した講座提供を図ることにより、市民の自主的な学習活動を支援します。

また、成果指標を「千歳学出前講座メニュー数」から「千歳学出前講座実施回数」に改め、さらなる利用促進に努めます。

\\ 魅力的な新メニューが盛りだくさん \\

平成
27年度

千歳学出前講座 メニュー表

ご好評をいただいている「千歳学出前講座」の講座がさらに充実しました。皆様の生涯学習活動、人との交流や情報収集の場としてご利用ください。



市役所編 救命救急講習
～いざというときのための準備～



仕事編 「どうぞん」で銀行体験
～みんなであそぶお勉強～



市役所編 カローリング
～子どもから高齢者まで大人気～



市民編! ハワイアンダンス
～誰でも気軽にフラダンス～

千歳市教育委員会教育部生涯学習課
〒066-8686 千歳市東雲町 2 丁目 34 番地
電話: 0123-24-3153 FAX: 0123-27-3770

【取組方策 1 - 2】

関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援

市民活動団体、企業、行政などが連携し、交流活動の活性化と「ひとづくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる「学びの循環」を促進する学習機会の充実を図り、市民の生涯学習活動を支援します。

(主要事業): 「生涯学習フォーラム事業」

社会教育関係団体等の発表・展示の機会を設け、団体間の交流及び来場者との交流を図り、生涯学習活動を促進するため、「生涯学習フォーラム」を開催します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
生涯学習フォーラム事業実施回数	0 回	1 回	2 回	2 回

< 前期計画期間の取組 >

取組方策である「関係機関と連携した学習支援や交流活動の支援」に資する事業として、社会教育関係団体等の活動発表の場、来場者との交流・団体間の交流の場の提供を目的に、生涯学習フォーラムを開催しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
生涯学習フォーラム事業実施回数	1 回	1 回	1 回	1 回

< 後期計画における事業概要 >

地域社会を活性化し持続させていくためには、市民一人ひとりが意欲と高い志を持って学び続けるとともに、その成果を地域に還元する仕組みづくりに取り組む必要があります。

今後も社会教育関係団体等への支援策の一環として、参加団体等の増加を図るとともに、開催回数の増加に努めます。



【取組方策 1 - 3】

生涯学習活動の普及・啓発の充実

“我がまちを想う情熱・自主的な活動・人とのふれあい”を大切にし、自由な市民活動の交流の場、市民主体のまちづくりを考える場、学びあい・高めあう場、ふるさと千歳の再発見の場の充実に努め、生涯学習活動の普及・啓発に努めます。

(主要事業):「生涯学習まちづくりフェスティバルふるさとポケット支援事業」

市民主体のまちづくりのため、学習成果の発表の場や交流機会を設け、生涯学習活動の普及・啓発を充実します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
「ふるさとポケット」 参加団体数	40 団体	43 団体	45 団体	45 団体

< 前期計画期間の取組 >

参加団体については、広報等での周知に加え、実行委員会委員で個別に参加団体の呼びかけを行うなどした結果、参加団体は増加傾向にあります。

< 平成 26 年度実績 >

【開催日】平成 26 年 9 月 21 日 (日)

【開催場所】青葉公園

【来場者】約 17,000 人

【参加団体】37 団体 (約 450 人)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
参加団体数	32 団体	33 団体	34 団体	37 団体

< 後期計画における事業概要 >

「ふるさとポケット」は、秋の恒例事業として定着しています。

来場者アンケートの結果でも満足度は高く、交流の場、学びあい高めあう場、ふるさと千歳の再発見の場として有効な事業となっており、引き続き、市民ニーズの把握や参加団体の増加に努め、生涯学習活動の普及・啓発を図ります。



【取組方策 1 - 4】

まちづくり活動を行うセンター機能の充実

生涯学習の拠点施設として、千歳市民活動交流センター「ミナクール」を設置し、市民活動の場、市民活動に関する情報提供の場、さらに活動に関する指導・相談の場としての機能の充実を図ります。

(主要事業): 「市民活動交流センターミナクール管理運営業務」

市民の自主的な活動や交流の促進につながるよう「ミナクール」を運営するとともに、生涯学習の拠点施設としての機能の充実を図ります。

成果指標		計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
「ミナクール」 利用延べ数	個人	8,423 人	9,000 人	9,500 人	12,000 人
	団体	1,985 団体	2,100 団体	2,200 団体	2,800 団体

< 前期計画期間の取組 >

市民活動交流センター「ミナクール」は、市民の自主的な活動や交流を積極的に支援する拠点施設となっています。

協働事業として運営することにより、利用状況は順調に推移しており、当初設定した目標値を上回るペースで増加しています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用者数	11,878 人	10,628 人	10,694 人	11,503 人
利用団体数	2,928 団体	2,572 団体	2,575 団体	2,734 団体

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、協働事業として市民活動団体とともに施設運営を行い、市民活動の場、情報の提供、活動相談などに努め、市民活動のさらなる活性化につなげるなど、市民の自主的な活動や交流を支援します。

なお、平成 32 年度における目標値については、前期計画期間における利用状況を踏まえ、利用延べ人数を「12,000 人」、利用延べ団体数を「2,800 団体」に上方修正します。



【取組方策 1 - 5】

まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援

市民活動等の経験者が連携し、地域における人材の発掘を進めるとともに、まちづくりに対する自主性を持った市民の育成や活用を図り、自らが主役となって市民主導のまちづくりを推進し、一人ひとりの魅力がまちの活力となり、人や活動が輝くまちづくりを支援します。

(主要事業):「ひと・まちづくりリーダー養成事業」

まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援を図るため、「ひと・まちづくりリーダー養成事業」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
ひと・まちづくり リーダー養成事業数	5 事業	6 事業	7 事業	7 事業

< 前期計画期間の取組 >

団体、企業や市民活動の経験者などで構成する「みんなで、ひと・まちづくり委員会」を組織し、「まちづくり」の担い手の拡大を図るため、市民が自ら企画する人づくり・まちづくりを行う人材の育成と市民活動の支援を目的とした事業を企画・運営してきました。平成 26 年度には、市内小学 4 年生から 6 年生を対象に市役所や市議会、千歳市内の企業などの見学を通し、まちやまちづくりに興味をもってもらうことを目的に「市役所・市議会・工場の子もお仕事調査隊」を実施したほか、キウス周堤墓群の周知を目的とした「千歳(わがまち)に世界遺産を！～聴く・観るキウス周堤墓群～」などの事業を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ひと・まちづくり リーダー養成事業数	4 事業	4 事業	4 事業	4 事業

< 後期計画における事業概要 >

前期計画期間における事業を継続するとともに、新たに委員の資質向上を図ることを目的に、委員研修を実施するほか、事業数の増加と事業内容の充実を図り、「まちづくり」の担い手となる人材育成に努めます。



【取組方策 1 - 6】

地域の力による、未来を担う子どもたちの活動支援の充実

次代を担う子どもたちとともに学ぶ環境づくりや地域ぐるみで子どもを見守り、子どもが安全に育つ安心な環境（場）の確保を推進します。また、地域住民が学校支援ボランティアとして、学習支援活動や部活動指導など地域の実情に応じた教育活動の支援を行うことや、地域リーダーの養成など地域の教育力の活用を支援します。

（主要事業）：「学校支援地域本部事業」

地域の教育力を活用し、学校活動を支援するため、「学校支援地域本部事業」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	成果指標	後期計画目標値 (平成 32 年度)
学校支援地域本部事業開設中学校区数	1 校区	↗	↗	学校支援地域本部事業支援対象校	26 校 (全小中学校)

< 前期計画期間の取組 >

学校からの支援要請に基づき、水泳やスケートなどの授業支援、教材園・学校花壇などの環境整備等各種支援事業を実施しました。

また、学校のニーズと学校支援ボランティアを調整する地域コーディネーターを配置し、必要な人材の確保及び広報活動等を行い、支援体制の強化及び支援内容の充実を図りました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
支援対象校数	9 校	9 校	9 校	10 校

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、次代を担う子どもたちの学ぶ環境づくりや子どもたちが安全に育つ、安心な地域づくりを推進するため、支援内容・回数の充実を図るとともに、支援対象校の拡大に努めます。



（主要事業）：「放課後子ども教室推進事業」

放課後の子どもたちの安心・安全な活動場所を確保し、様々な体験や学習プログラムを提供するため、「放課後子ども教室推進事業」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
放課後子ども教室 開設学校数	1 校区	↗	↗	2 校区

< 前期計画期間の取組 >

平成 21 年度から、児童館未整備地区の北栄小学校に放課後子ども教室を開設し、勉強やスポーツ、地域住民との交流等を図ってきました。

放課後子ども教室については、児童館未設置校区への対応として実施しており、同校区に児童館が供用開始となったことから、平成 25 年度をもって、北栄小学校における放課後子ども教室を終了しています。

< 後期計画における事業概要 >

「放課後子ども教室」は、子どもたちの健やかな成長を育むために、地域の高齢者やPTA関係者等のボランティアを中心に、「予習・復習」など自主学習の場や、特別活動として様々な体験活動を提供する事業です。

子どもが日常生活の中で多くの世代と交流することや、様々な体験活動の機会が少なくなっている現状を踏まえ、児童館未設置校区への教室開設を目指します。

